

ようこそ、英検2級の補習へ<1月22日(火)>

<はじめに>

英検の試験まで、あと1週間となりました。皆さん、それぞれで、コツコツと、英検の勉強を進めてきたことでしょう。今日はこの補習で、その成果の確認ができればと思います。また、英検の出題傾向と対策も再確認しておきましょう。

その前に、先生が学生のときに英検を受けたときの、勉強法を紹介します。

- ・ 単語集を使って、とにかく単語の意味を覚える（時間がないときは、「動詞」優先）
- ・ 問題集を使って、大問4の長文読解をする（一つの問題につき制限時間10分で）
- ・ CDを使って、リスニング2部の長い文章を何回も聞いて、意味を正確に理解する

というものでした。つまり、誰もが通る「英検の王道」を、先生もやりました。

英検は毎年、出題傾向もほとんど変わらず、問われる単語力もある程度決まっています。よって、特別な勉強方法が必要ないかわりに、このように地道にコツコツ積み上げていく勉強方法が、確実であり、最大の効果が出せるものと、先生は考えています。

<英検2級について>

さて、皆さんはもうすでに、英検2級についての情報収集は済んでいると思います。改めて、この補習では言いませんので、必要な人は配ったプリントを見ておいてください。簡単に言うと、英検2級は中学生にとっては、非常に高いレベルであるということです。

- ・ 5000語という難関大学に合格する相当する単語・熟語力が必要である。
- ・ 一次試験の合格ラインは約65%（70問中45問前後の正解）である。

では、ここからは、実際にできそうな対策について、確認してきましょう。シカゴに住んでいる皆さんだからできる対策と、一般的な対策に分けて紹介します。

<皆さんにできる対策>

ここシカゴで生活している皆さんの最大の強みは、リスニング力です。普段から、英語で相手の意図を「なんとなく」つかむことは、慣れていると思います（ただ、「なんとなく」ではなく、「ちゃんと」理解できているかを英検では問われます…）。そこで、皆さんができる対策は「選択と集中」です。

- ・ リスニングでは30点（満点）を取り、大問1の語い・熟語、大問2の並び替えで、合計15点以上とる。
（大問3と4の長文読解は、20点中5点でも取れれば嬉しい！
くらいの気持ちで望む。）

※ちなみに、先生はリスニングが苦手でしたので、長文読解で満点を取りました！

<一般的にできる対策>

- ・筆記では時間配分をする

(大問1は20分、大問2は5分、大問3は20分、大問4は30分の、合計75分)

(長文読解でできる対策)

①まずは、問題に目を通して、何が聞かれているのかを、想像する。

②長文は時間配分していれば、3回は読める(はず)。

③一回目は「ざっー!!」と読む。

ここではウォームアップとして、**大きな話の流れをつかむ**のが目的です。

主語+動詞「なにが+どうする」と、鉛筆で印を入れてもよい。

(主語や動詞が判断できずに、考えすぎてしまう場合はやめたほうがよい)。

この段階で、選択肢が選べる場合は、一応選んでおく。

④二回目は「ぱっ、ぱっ!!」と読む。

選択肢を選ぶため、**答えが書いてありそうなところを見つける**のが目的です。

つかんだ大きな話の流れをもとに、答えのありかを見つけ、線を引きましょう。

この段階で、選択肢を選んで、一応の答えを出せるのが理想です。

⑤三回目は、必要のところだけ「じくーり!!」と読む。

選んだ選択肢があっているかを確認するために、

自信のない選択肢にあたる部分の段落のみを、丁寧に読むのが目的です。

この段階で、最終の確認をしましょう。

(リスニングでできる対策)

・リスニングでは、考え込まず、**迷った場合は最初に思った答え**を選ぶ。

・できるだけ「さっ」と答えて、余った時間を**次の問題の選択肢を読む時間**にあてる。

・リスニング2部では、必ず聞き取れた**単語や内容をメモ**して、**考えて選ぶ**

(けど、考えこまない)。

以上、簡単ですが、英検2級の実態と対策について、触れました。あとは、やるのみ!一冊だけでいいので、当日まで、参考書をしっかりやり続けてください。今日の残りの時間と、次回の補習では、実際に模擬問題に挑戦してみましょう。

一次試験・筆記（45問・75分）

筆記試験は、4つの大問で構成されており、問題数は45問（各1点・計45点）です。この45問の問題を75分かけて解きます。

大問	内容	問題数と配点
1	短文または会話文の穴うめ問題 短文または1往復の会話文を読み、文中の空所に適切な語句を補う。	20問×1点
2	短文または会話文の並べ替え問題 文中の（ ）に、前後関係に合うように与えられた語句を並べ替える。語句は5つ与えられ、それらを並べ替えた際に2番目と4番目にくる語句の記号をマークする。	5問×1点
3	長文の穴うめ問題 説明文を読み、パッセージの空所に、文脈に合う適切な語句を補う。	8問×1点
4	長文の内容に関する問題 Eメールや説明文などを読み、これらの英文の内容に関する質問に答える。	12問×1点

一次試験・リスニング（30問・約25分）

リスニングテストは、第1部と第2部で構成されており、問題数は30問（各1点・計30点）です。この30問の問題を約25分かけて解きます。

大問	内容	問題数と配点
1	会話の内容に関する質問 会話文を聞き、会話の内容に関する質問に答える。	15問×1点
2	文の内容に関する質問 物語文や説明文などを聞き、その内容に関する質問に答える。	15問×1点